

総会報告

2015年7月25日
トルコ・イスタンブール



目次:

WASLI 紹介	1
WASLI 理事及び 地域代表理事	2
2015 総会議事 会長報告	4
会計報告	5
事務局報告	8
地域代表との連携	9
理事立候補者	13
事務局長候補者 今後の抱負	14
	15
	16



最新情報はこちらから

[Facebook](#), [Twitter](#)

または WASLI の HP へ:

www.wasli.org

WASLI 紹介

活動概要

世界手話通訳者協会(WASLI)は、手話通訳者を代表する国際的な非政府組織である。2005年に設立して以来、手話通訳のグローバル的な発展に向けて、各国の手話通訳者協会の設立や効果的な通訳訓練法の推進、通訳実践の標準化などに尽力してきた。我々の会員は世界40カ国に及ぶ。手話通訳の専門化・職業化によって、通訳レベルや倫理に基づく通訳サービスが保障され、ろう者の人権が守られる結果に繋がる。WASLIは世界ろう連盟とも密接な連携関係を持ち、双方の更なる発展に協力していく所存である。

我々の使命

WASLIの目標は世界各国の手話通訳業を専門化へ推進することである。目標の達成に向けて、我々は以下の活動を行う。

- ・未だに独自の手話通訳者協会を持っていない国に設立の推進を行う
- ・既存の手話通訳協会にとって、協力的な存在となる
- ・インターネットや各国共通なコミュニケーション手段を持って、手話通訳に関する情報や参考資料を共有する
- ・国際会議やスポーツイベントなど国際的なイベントで活躍する手話通訳者の業務を支援する
- ・ろう者及び盲ろう者関係の団体と連携し、手話通訳問題に取り組む
- ・研究を推進する
- ・ハイレベルな通訳訓練や研修、養成、認定のための基準を開発し推進する
- ・会議やセミナーなどを開催する
- ・共通課題を持つ音声言語通訳団体や関連団体と連携する

組織概念及び活動方針

誠実に

WASLIは誠実に活動する。われわれのもとでは専門化の推進、生涯学習の責務、対外交流を通して規範基準を設定し、従う。

連携規範

WASLIは連携規範に従い、世界ろう連盟及び世界盲ろう者連盟と緊密な連携関係を維持し、相互の課題や目標の達成に向けて、協力する。更に、各国会員にも同様な連携規範をもとに、それぞれの国内ろう者団体と関わるよう、促進していく。

革新的な態度

WASLIはその事業に積極的に対策を講じる。国際的なレベルでの政策や権利擁護について議論し影響を与える。

説明責任

WASLIは会員に対して、事業決定の説明責任を果たす。

WASLI 理事会メンバー2011-2015

会長 デブラ・ラッセル (カナダ)

副会長 ホセ・ルイス・ブレビア (コロンビア)

事務局 アウォイ・パトリック・マイケル (ウガンダ)

会計 スーザン・エマーソン (オーストラリア)

地域代表理事

アジアー梅本悦子、モニカ・ベルマ

南洋州・オセアニアーシーナ・ウォルターズ、アンナ・ポスト

ヨーロッパー未定

北アメリカーナイジェル・ハワード

ロシア・コーカサス・中央アジアーイゴール・ボンダレンコ

バルカンーセルマン・ホティ

ラテンアメリカ・カリブ諸島ージョゼ・エニルソン・ジュニア

アフリカーティム・タイナット

緊密連携団体
—連携覚書を交わした団体—

世界ろう連盟 2007年

世界盲ろう者連盟 2013年

ヨーロッパ手話通訳者フォーラム(efsli) 2014年



総会議事

2015年7月25日

1. 歓迎の辞
2. お詫び・欠席国会員からの挨拶ビデオ
3. 集計委員から票集計の確認
 - a. ギャビー・マーティネク氏 (MX)
 - b. ボニー・ヒース氏 (CAN)
4. 2011 総会議事録について
 - a. 修正の有無
 - b. 承認
5. 議事録で提起した事項
 - a. 法的所在地
6. WASLI 2011-2015 年度各事業報告
7. WASLI 会計報告
8. 各地域代表より事業報告
9. WFD-WASLI 作業グループより事業報告
 - a. リズ・スコット・ギブソン氏
 - b. ロバート・アダム氏
10. WASLI 2015 総会共同議長より報告
11. WASLI 2015 総会支援委員会より報告—ジャック・カロン氏及びゼイン・ヘマ氏
12. 覚書—翻訳者及び通訳者連盟
13. WASLI 理事選出
14. 地域代表承認
15. 新規事業
 - a. 国際会議通訳者協会 (AIIC) マヤ・デ・ウィット氏
16. 承認及び謝辞
17. 集合写真
18. 閉会の辞

注： 本総会終了後、新理事による理事会が開かれる



会長報告

親愛なる WASLI メンバーの皆さま

過去4年間、無償の会長として務めさせていただく機会をいただき、感謝しております。世界中の手話通訳の専門性を高めるために、個々の手話通訳者や各国の通訳者組織と力を合わせることができたことを光栄に思います。皆さまの国や地域のイベントなどで暖かく歓迎していただいたことも大変幸せな経験でした。過去4年間、アフリカや南洋州・オセアニア、ロシア・コーカサス・中央アジア、ヨーロッパ、北アメリカ、ラテンアメリカ、アジア、サウジアラビア王国など、様々な国を訪問する機会に恵まれ、本当に楽しかったです。現地の手話通訳者たちは、手話通訳やろう者の明るい未来のために、地元の日常場面から国家規模の場面まで、様々なかかわり方を見せていただき、大変勉強になりました。

行動的な理事たちにもお礼を申し上げたいです。過去4年間のご協力に感謝しております。国境を越え、時差を越え、言葉の壁を越え、文化の違いを越え、各自の仕事環境や生活状況とバランスを取りながら、自分に課せられた職務を全うするのは容易なことではありません。

リズ・スコット・ギブソン氏にもお礼を言わなければなりません。名誉会長を引き受けくださり、有益なアドバイスをいただくことができました。また、私たちの仲間として、今後も引き続き様々な国に働きかけ、いい仕事をしていただけるでしょう。

世界ろう連盟会長コリン・アレン氏にも感謝しております。彼から豊富な経験に基づいた助言をいただき、WASLI に対しても大変協力していただいております。WFD-WASLI 連携事業の成功は、彼の精力的な指導力及び共助の精神の賜物です。

過去4年間、貴理事会と様々な事業で一緒させていただきました。ボランティアの皆さま、漏れがあっただけではないので、敢えて個々の名前を取り上げないが、ご協力ありがとうございました。

最後に、過去4年間に於ける我々の活動実績をまとめてみました。

WFD-WASLI 連携事業の中で、3つの実務グループを立ち上げました。完了した事業もあれば、進行中のものもあります。

a. 自然災害時のろう者連絡係を担当する実務グループ。この事業は2014年で完了しました。この事業を担当してくれたダニ・フライド氏にお礼を申し上げます。

<http://wfdeaf.org/news/wfd-and-wasli-statement-communication-during-natural-disasters-and-other-mass-emergencies-for-deaf-people-who-use-signed-language>

b. 国連手話通訳 (UN IS) 認定事業

ジェミナ・ネイピア氏とロバート・アダム氏が担当する事業です。総会で詳しく報告していただきます。今年度中に1回目の認定が行われる予定です。

c. 国連会議に通訳サービスを提供

この事業を担当するリズ・スコット・ギブソン氏に感謝します。2013年に合意書を交わし、国連のイベントに手話通訳者を確保するようになり、2015年6月に合意書を更新しました。

- a. <http://wasli.org/wp-content/uploads/2012/11/Interpreter-Guidelines-for-UN-24-Updated-June-2015-cja-et-25-June-cja.pdf>

実務グループに加えて、WFD-WASLI 連携事業として複数の共同声明を交わしました。WFD のイベントにも出席しています。

○モスクワ言語権決議書 2014年5月完成

○マンデラ告別式のデタラメ手話通訳

○国連障害者権利条約

○国連人権大賞に WFD が推薦するリーサ・カウピネン氏の支援を行った

○リーサ・カウピネン氏のトリニティ・カレッジ(ダブリン)名誉博士号の授与を書面にて支持した。

○2012年9月に開催された国際障害者同盟会議の一部に出席した。WFD との会議や、一連の国連障害者権利条約イベントに参加した。

○2013年10月にオーストラリア・シドニーで開催された WFD 会議で、WASLI 会長と WFD 会長がプレゼンを行った。

○2014年マカオで開催された WFD 地域事務局会議に出席した。

○WASLI 会長と WFD 会長が共同ビデオの最新版を発行した。オーストラリア(2011/2013)、パナマ(2012)、アメリカ(2012)、カナダ(2014)、ロシア(2014)及びマカオ(2014)

その他の実績

・ WASLI は手話通訳者の役割についての声明を作成した。2014年6月に完成

・ ケリ・ステイン氏とサンジャ・タークザイ氏がリーダーを務める実務グループは、ボランティア・グループの協力を得て、WASLI 盲ろう者通訳教育ガイドラインを作成した。

<http://wasli.org/special-interest/deafblind-interpreting>

・ WASLI の新しいホームページを製作した。このプロジェクトの担当はスーザン・エマーソン氏とナイジェル・ハワード氏

・ 国会員と個人会員の会費を安くし、会員の経済的負担を軽減した。

・ 次期理事会のために、シーナ・ウォルターズ氏が理事会オリエンテーション資料を新たにまとめた。

- 2014年9月 WASLI と efsli が新しい覚書を交わした。これにより、次期理事会にはヨーロッパの地域代表が加わることになる。efsli にお礼を申し上げます。
- 議事録 2011 の電子版が出来上がった。WASLI の初めての試み。会員も非会員もホームページから閲覧することができる。
- WASLI 総会 2015 に向けて、2年前から各国のボランティアから協力をいただき、準備を始めた。
- WASLI2015 に向けて、WASLI2011 関係者のご意見に基づき、事前ワークショップを開催した。そして、すべてのワークショップの入場券が完売した。新興国の関係者にとって、本格的な手話訓練が受けられる貴重な機会でもある。このワークショップで、無償で指導員を務めていただいた方々にお礼を申し上げます。
- 地域代表の選出方法が簡略された。総会に先立って、国組織に選ばれた代表であることとする。
- WASLI ソーシャル・メディア・チームは、ツイッターやフェイスブック、ニュースレターなどを使って定期的に発信している
- 会議資金の募金努力により、WASLI2015 に代表5名分の参加費用を賄うことができた。更に、全米登録手話通訳協会（RID）や、ストリート・レベレッジ、アクセス通訳社などのスポンサーの基調講演を、初めてネットで生中継することになる。
- 2015-2019年期のろう通訳アドバイザーの位置づけ
- 会計担当が会計報告をホームページに掲載した。我々の募金力や管財力をアピールできた。

地域代表もいい成果を上げた。

- 北アメリカ・メキシコでは、2014年7月に第1回北アメリカ手話通訳者地域会議が開かれた。
- アジア-2014年8月のマカオでのWFD地域事務局会議と同時に、アジア通訳者会議とWASLI理事会が開かれた。
- アフリカ-国際監査員の監督に基づき、地域代表選挙が行われた。
- バルカン-手話通訳者に継続的に技術訓練が提供されている
- ロシア・コーカサス・中央アジア-2012年にキエフで地域代表会議が開かれた。
- 南洋州・オセアニア-ASLIA 会議で地域代表会議が開かれ、フィジーの手話通訳者に技術訓練が提供された。
- ラテンアメリカ-2013年にブラジルで FEBRAPILS と共同で第2回ラテンアメリカ通訳者・翻訳者大会が開かれた。通訳者協会が10カ所設立され、WASLI の会員となった。

Page 8

会計報告

さまざまなご支援や励まし、WASLI と世界中の通訳者を代表する信頼を寄せていただき、お礼を申し上げます。次期も心よりご奉仕したいと思います。

皆様のご健闘をお祈り申し上げます。

WASLI 会長 デブラ・ラッセル



会計報告
スーザン・エマーソン

皆様に会計報告をすることができて光栄に思います。この報告は、私の任期 2011 年から 2015 年までのすべての事業を包括します。在任中、以下の事業にかかわることができて大変嬉しかったです。

- WASLI のホームページを刷新した。
- WASLI2015 の事前ワークショップやマーケティング、管財、スポンサー探しなど業務の実行委員会を立ち上げた。
- ソーシャルメディアで配信するプロモーションビデオや公表資料などを作成した。
- WASLI 理事として、WASLI 総会 (ダーバン 2011) やオーストラリアろう者運動大会 (ギーロング 2012)、ASLIA 全国大会 (シドニー 2011)、EFSLI 大会及び総会 (ウィーン 2012)、世界ろう連盟会議 (シドニー 2013)、第 26 回 WFD アジア地域事務局代表会議・WASLI アジア会議 (マカオ 2014)、WASLI2015 及び WASLI 総会 (イスタンブール 2015) に出席した。
- WASLI オンライン役員会議に出席し、WASLI2015 大会の運営委員を務めた。
- 2013 年に中国昆明市の手話通訳者や、ろう社会と面談し、プレゼンを行った。
- 募金プロジェクト案を含む、地域支援計画のための 4 力年計画を立案した。
- WASLI 財務の管理業務。理事会に年に 4 回の会計・事業報告の提出や、会員閲覧用のオンライン報告書を掲示、WASLI の PAYPAL アカウントを管理、銀行や請求書などの支払い業務、WASLI 会員との交流など。
- WASLI 会費体系の見直し及び宣伝。

在任期間中、様々な課題に直面しました。ぜひ皆さんと共有したいと思います。まずは、一部の理事が責任感に欠け、返信が遅いことです。次は、銀行業務が煩雑すぎることです。スタッフへの送金手続きは大変複雑だったし、海外の支払いが規制されています。

今期の会計を担当するにあたって、まずは銀行業務の処理方法を見直します。それに、新しい理事会のご協力を得ながら、会員数も増やしていきたいと思います。

それから、以下の方々のご支援にお礼を申し上げたいと思います。ジェイン・テイラー氏、ダイアナ・アシュレー氏、ロサリー・カースルケ氏、ケイト・レイビック氏及びミシェル・アシュレー氏。最後に、デブラ・ラッセル氏に万歳を言いたいです。彼女の素晴らしいリーダーシップ、指導精神、親切な態度及び忍耐力に感謝します。

WASLI 事務局移行報告 2015 年 7 月トルコ総会

概要

この報告は 2011 年から 2015 年 7 月までの業務全般が含まれる

業務項目

E メール

実務内容

- 課題が挙がる度、関係の理事へ E メールしたり、その転送をしたりする。
- WASLI のホームページに送信してきた Eメールの処理。
- 会員からの Eメールへの返答。
- 世界各地の理事たちがアクセスしやすいように、WASLI の以前の Eメールシステムを Gmail に切り替えた。
- WASLI の Eメールシステムの使用状況を分析し、個々の理事が返信しやすいようにシステムの機能を改善した。

課題

私の作業する地域の環境により、インターネットのアクセスが制限されている。

2. 作業計画

実務内容

- WASLI 5年計画の戦略会議に参加した。
- 理事及びボランティアから上がってきた活動内容や報告などに対して、随時情報を更新した。

課題

- 一部の理事がその地域の活動情報や報告などをなかなか提出してこない。

3. ホームページ

実務内容

- WASLI の新しいホームページの作成にあたって意見を述べた。
- ホームページの運行状況をチェックする。例えば正常に作動しているのか、会員からコメントが入っているのか、など。
- 会員の活動報告や、ホームページ経由のコメント、苦情、回答などをホームページに反映してもらうように、ウェブ管理者に転送したりした。

課題

- 地域や作業環境によって、インターネットのアクセスが制限されている。

4. 会議

実務内容

- WASLI の対面会議に参加できなかった。
- SKYPE を通して、WASLI の会議の一部に参加した。

課題

- 各会議の開催地が違うため、私の旅費を支援してくれるスポンサーがない。
- 地域の条件や環境が悪いため、インターネットのアクセスが制限される。
- 地域との時差。

5. 書類・ファイリング

実務内容

- WASLI 会議録のファイリング。
- WASLI 作業計画の更新及びファイリング。
- WASLI 理事及び会員から提出された報告書の受け取り及びファイリング。
- WASLI が送った手紙や、会員と関係者から受け取った手紙などのファイリング

課題

- 私のノートパソコンが盗まれた時、書類の一部を紛失した。幸い、多くの書類が復旧できて、それをドロップボックスのアカウントに保管し、再発を防止することができた。

6. 連絡業務

実務内容

- 関係者や好意をよせてくれる方々との手紙や問い合わせのやり取り。
- 関係者からのニュースレターを WASLI 理事及び会員と共有。
- 関係者や好意をよせてくれる方々から受け取った手紙やお問い合わせを適切な理事に転送し、対応してもらう。

7. アフリカ地方のプレゼン

- サミュエル・B氏（ウガンダ）の欠席期間、ナイジェリアのティモシー氏がアフリカ代表に選出されるまで、代役としてアフリカ地域代表として務めた。
- アフリカ地域代表と一緒に現地の活動や業務を対処した。
- アフリカ諸国に手話通訳の普及や国内協会の設立などについて、アドバイスをしたり、必要な情報を提供したり、説明などをした。

8. WASLIソーシャル・ネットワーク会員の対処

- フェイスブックやツイッターの投稿をチェックする。
- WASLIのフェイスブックで会員や関係者、好意を寄せてくれる方々からいただいた情報や資料などを掲載する。
- WASLIのMailChimpシステム経由のメールなどを処理する。

課題

- 地域の条件や環境が悪いため、インターネットのアクセスが制限される。

9. 会員

- 会員担当者に協力し、会員に関する業務を処理した。

10. WASLI2015 トルコ総会

- 会員や関係者、好意を寄せてくれる方々から受け取ったEメールや問い合わせなどを実行委員会に転送する。
- 総会の企画段階の打ち合わせに参加した。

まとめと感謝の辞

WASLI の組織体制や運営環境があまりにも独特なため、事務局長としての4年間はたいへん楽しく、忙しく、そしてたいへん興味深いものでした。この場を借りて、今まで様々な形で支援してくれた理事の皆さま及びボランティアの皆さまに、お礼を申し上げたいと思います。特に会長（デブ氏）、会員担当（前任者と現担当）、ジャック氏及びゼイン氏。そして、次期事務局長にお約束いたします。今後の4年間、私は喜んでサポートいたします。

今後とも WASLI と関わりあい、その夢の実現に、そして、手話通訳が専門化へ邁進するよう、協力したいと思います。

備考

WASLI トルコ総会に出席することができなかったが、皆様のご健闘をお祈り申し上げます。次期事務局長に引き継ぎの書類や報告書などは既に用意してあります。総会の後にお渡しします。

WASLI 2011-2015 事務局長 アオイ・パトリック・マイケル



地域との交流

ネット交流

前年度のカンファレンス・サイト・ページのアクセス数は 17917 人

Eメール

過去4年間、会長が 5000 通以上の eメールを対応した。

フェイスブック

フェイスブックにお知らせやイベント情報、ブログのリンクなどを投稿した
いいねをしてください。 <https://www.facebook.com/wasli.official>

ツイッター

ツイッターをツイートしてください。 @waslitweets

WASLI 会長及び理事会メンバーが多くの国を訪問し、プレゼンをした。総数 8000 人以上に及ぶ。

- ・オーストラリア
- ・ナイジェリア
- ・アメリカ
- ・メキシコ
- ・パナマ
- ・コロンビア
- ・ブラジル
- ・ペルー
- ・ドミニカ共和国
- ・ロシア
- ・ウクライナ
- ・タイ
- ・日本
- ・マカオ
- ・フィジー
- ・スコットランド
- ・コソボ
- ・ベルギー

WASLI の事業の成功は、皆さまの無償な協力、または経済支援のお陰です。

WASLI のスタッフは全部無償のボランティアです。この世界を違うものにしたいとの思いで、手話通訳やろうコミュニティに貢献することをいとわない個人の集団です。皆さま方に、厚くお礼を申し上げます。

WASLI 2015 のために活躍してくれたボランティアの皆さま及びスポンサーの皆さま、ありがとうございました。



次期理事会の候補者

立候補及びノミネートの締め切りは 2015 年 6 月 15 日。以下の方々が立候補された。

会長 — デブラ・ラッセル (カナダ)

副会長 — ホセ・エドニルソン (ブラジル)

会計 — スーザン・エマーソン

事務局 — 3名の立候補が受付された。

1. ジョディ・フェレ (スペイン)
2. クリス・グルームズ (アメリカ)
3. イサベル・ハイエリック (ベルギー)

事務局長候補者から以下の書類が提出された

ジョディ・フェレ スペイン・マドリード在住。

私は 1993 年から手話通訳を務めております。1994 年から 1996 年まで、私はマドリードの最初の手話通訳者協会の会計を務めておりました。残念ながら、この協会は 2000 年に解散されました。

2004 年、私はマドリードで新しい手話通訳者協会を立ち上げました。そして会長にノミネートされ、初代会長として 2012 年まで在任しておりました。今は副会長を務めております。更に、手話通訳関係のフェイスブックを二つ管理しております。

一つは、手話通訳者グループです。世界 100 カ国の手話通訳者が友達になっていただいています。デジタル媒体を使って、世界中の手話通訳者と緊密な交流及び情報交換を図ってまいりました。

二つ目は、ラテンアメリカ手話通訳者グループです。このグループはスペイン語もしくはポルトガル語を母国語とする手話通訳者を対象としております。

私は以上のグループに関わっております。これらを通して、手話通訳者や手話に関する情報を多く集めたいと思っております。私の夢は、世界中の手話通訳者が相互理解を深め、力を合わせることです。現在、アフリカやラテンアメリカなどの国々のために、手話通訳者協会の設立を支援した経験があり、また、現在も協力をしています。

もし WASLI が私を次期事務局長として受け入れてくれたら、私は支援を求める貧困国の手話通訳者のために、職業訓練や連携事業などを促進していく所存です。

クリス・グルームズ (アメリカ)

私は WASLI 理事会の次期(2015-2019)事務局長の職務に大変興味を持っております。私はアメリカで手話通訳者として勤め始めた 25 年前から、所属する専門機関やコミュニティで手話通訳の専門性を高めるために全力を尽くしてまいりました。WASLI 理事会が求める事務局長候補としての経験と条件を、私は満たしていると思っております。私は通訳教育の修士課程を修了するために、2 年間の活動休止期間がありましたが、今は再びお世話になった団体やコミュニティのために活動を再開しております。

手話通訳の専門組織で管理職を務める前、私は様々な職務を経験しておりました。理事会メンバーにメールなどをまとめたり配信したり、様々な委員会に携わったり、州会議の事務担当などしておりました。2001 年テキサスに引っ越して間もないころから今の管理職を引き受けました。私が管理職として働いている団体は以下の通りです。

ワシントン州手話通訳登録者協会	1998-2000	全州代表
テキサス手話通訳者協会	2002-2005	事務局長
	2005-2007	次期会長
	2007-2009	会長
全米手話通訳者協会	2003-2007	第4区事務局長
	2003-2007	専門開発委員会 第4区代表
	2010-2011	第4区代表
	2011-2013	会計・代表

2010-2011 第4区代表

2011-2013 会計担当

以上の職務経験から、会員の要求や需要をよく把握できていると思います。また、今までの経験から、私は、手話通訳の専門性や言語問題、人権問題などを推進するには、ろうコミュニティやと盲ろう者のコミュニティ及び関連団体との連携や交流が如何に重要であるかを学んでまいりました。更に、専門家組織の役員として必要な実力や知識も得ることができました。私は、自己の技量や能力、経験、知識などを WASLI の理事会で生かして、会員の皆さまに貢献し、世界各地の手話通訳の専門性を促進していきたいと思っています。

ワシントン DC で開催された世界手話通訳者シンポジウム 2002 に参加して以来、私は WASLI 及び WASLI が関わってきた活動にも熱烈に支持してまいりました。WASLI が発足した当初から、その方針及び使命を心から信頼し、賛同しております。私は WASLI の事務局長として世界中の同業者に仕えることができたなら幸いに思います。

WASLI 事務局長に選ばれたら、私は以下のことを約束します。

- 手話通訳業を向上させ、世界へ広めるよう、皆さまとよく話し合い、最善の方策を決める。
- 発展途上国を含め、未だに手話通訳者関係の国内組織が設立されていない国々に、その設立に繋がる方案を、皆さまとよく話し合い、方策を決める。
- 世界各地の手話通訳コミュニティとろう社会、盲ろう者社会に於ける連携や交流促進の方案を、皆さまとよく話し合い、方策を決める。
- 世界のろう者及び盲ろう者の人権や言語を守るために、活動や討論会を推進し、それぞれの言語で必要な情報が得られるよう努める。
- 世界の手話通訳者やろう者、盲ろう者にとって、WASLI は常に頼れる機関であるよう、活動及び意思決定過程に忠実である。

更に、WASLI 事務局長に選ばれたら、任期内の業務目標は以下の通りです。

- WASLI の執行理事会議や総会に関する議事を完全かつ正確に記録し、一般の方々でも会員の皆さまでも随時閲覧できるように、万全な管理を行う。
- ソーシャルメディアやメールなどを使って、WASLI や関連団体の活動に興味を持つ一般の方々や会員の皆さまと交流を深める。
- WASLI 理事会の議論中の事業や決定事項などをソーシャルメディアやメールなどを使って、会員の皆さまに到達する。
- 言語通訳団体を含め、WASLI と共通課題を持つほかの団体と意見交換をする。
- WASLI 会員の皆さまにとって、常に頼れる情報源であること。
- 理事会及び会員の皆さまに事務局の年次報告を提出する。

2015-2019 年度の WASLI 事務局長職に立候補させていただき、お礼を申し上げます。ほかに必要な情報や資料がございましたら、喜んでご提供いたします。

イサベル・ヘイエリック (1980年ベルギー生まれ)

フラマン語手話通訳者、言語学者、PhD 取得見込み、ルーヴェン大学講師。

2002年に彼女はベルギーのヘント大学言語学修士課程に入学しました。同時にフラマンろう者協会でも働き始め、フラマン通訳プログラムも受講しました。2006年に修士号を取得しました。

2008年、彼女はある仲間とろう者1名とで Tenuto というフラマン手話訓練団体を設立しました。彼女の情熱が再び燃え、フラマン手話通訳センターの言語学研究者としても働き始めました。2012年彼女はこのセンターのコーディネーターとなりました。

2010年、彼女はルーヴェン大学でフラマン語/オランダ語/英語の通訳の修士課程を専攻し、2012年に修了しました。

現在、イザベル氏はルーヴェン大学の博士課程に在学しています。彼女の研究テーマはろう通訳者及び聴者通訳者の使用する言語戦略だそうです。彼女は同大学でろう者の仲間と一緒に、修士課程の逐次通訳科目と大学院の同時通訳(会議通訳)科目を教えています。

その上、通訳として10年の経験を持つ彼女は、主に成人ろう者の職場通訳やろう大学生の授業通訳を担当しているそうです。彼女はベルギーのフランダースろう者連合会フラマンろう者協会、AGFAヘルスケア社、ベルギーのろう者政治家ヘルガ・ステーブンス女史、英語/オランダ語とフラマン語間通訳を必要とするろう者などの指名通訳でもあります。

彼女の国際活動について、ヨーロッパ手話通訳者フォーラム EFSLI と世界ろう者連盟 WFD の国際会議で通訳を務め、数年前からは、多言語使用のイベントなどでのろう通訳者に対するリーダーとしても務めています。

手話とろう社会と接した瞬間、私はこの世界に魅了されました。ある言語を別の言語に置き換えるだけが通訳ではありません。文化や社会などの背景も関わってきます。言語学を専門としてきた私にとって、言語的な側面は把握し、習得しがたいものではありません。しかし、私は教室で通訳を学んだのではありません。ろう社会から多くを学ぶことができたからです。フランダースと一緒に働いていたろう者たちは私の師匠でした。後に、私はグローバルなろう社会やグローバルな通訳コミュニティに紹介されました。その時から、私は巨大な専門家ネットワーク集団の一部になった気分です。我々は同じ戦場に立つ時もあります。WASLI や WFD などグローバルな機関が教えてくれたのは、世界中の手話通訳者も、そのサービスを必要とするろう者たちも、同じ問題や課題を抱えている、または抱えてきました。その問題とは、手話言語の言語学的及び法律的な地位、専門的な通訳訓練、優れた通訳サービスを受ける権利などです。以上の課題を既に解決済みの国もあれば、まだ格闘中の国も、克服しつつある国もあります。私からみれば、これこそが WASLI の出番です。WASLI の情報共有力、知識維持力、素晴らしい実行力は掛け替えのない存在です。

理事として、私は WASLI の事業にすべての時間と力を捧げます。WASLI の事業理念を守ります。WASLI の目標達成に向けて頑張ると共に、以下のような事業を提案させていただきます。まずは、私の専門及び個人的興味に関わるものですが、貧困国及び発展国において、手話言語通訳分野の推進・促進に、WASLI はどのような関わり方を持つべきなのかを探求したいと思います。世界の手話通訳やろう社会に貢献する研究を通じて、手話通訳の専門職化への発展につながると強く信じております。二つ目は、応用研究や通訳訓練、聴者及びろう通訳者やろう者顧客とのかかわりなどを通じて、通訳レベルの向上を図っております。さらに、WASLI の影響力や持続力を高めるために、私は「縁の下の力持ち」として小さなことから地道なことまで喜んでお手伝いいたします。

2015-2019 年度地域代表名簿

アジア — 梅本悦子 (日本)

アフリカ — ナタシャ・マリコ (南アフリカ)

南洋州・オセアニア — アンジェラ・マレイ (ニュージーランド)

バルカン — デサンカ・ジジック (セルビア)

ヨーロッパ — クリストファー・ストーン (イギリス)

北アメリカ — リズ・メンドーサ (アメリカ)

ラテン・アメリカ — イサベル・レイ (ペルー)

ろう通訳アドバイザー

1名の立候補がありました。候補者名はナイジェル・ハワード (カナダ)



今後の抱負

これからの使命

- 新しい理事会は 2015-2019 年度の戦略プランを設定し、役員会議及び総会日程を決める。
- 2015 年 11 月に設立十周年の記念行事を行う。
- スイスに法的所在地を置く。
- 3 年前から着手し、WASLI の経済基盤の安定性と有償スタッフの経済保障が目的の方案を維持する。
- WASLI と WFDB 及び efsli の連携・支援形態を引き続き模索していく。
- 国際会議通訳者協会 (AICC)、国際通訳者連盟 (FIT) のような重要連携先を探す。
- 通訳者たちの国際的代弁者であり続ける。